

事務事業名		診療施設災害復旧事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目					
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進				会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	02 地域医療体制の充実				<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		14	05	01	01	01	
所 属	部課名	生活福祉部国保年金課		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間)							
	係 名	越喜来診療所	電話 44-2103	23 年度～ 24 年度							
			内線	※全体計画欄の総投入量を記入							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
東日本大震災にて、地震または津波により綾里診療所、歯科診療所、越喜来診療所が被災したために、施設を復旧する事業。 事業費の内容は、工事費が主で、各設備を復旧するための委託料等がある。 平成24年8月に綾里診療所、歯科診療所の復旧工事が全て完了し、震災前と同様の医療が提供できることとなった。 これにより、全ての工事が完了した。						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	25,324		
							財源内訳	都道府県支出金			
						人件費	その他	27,823			
							事業費計(A)	53,147			
						トータルコスト(A)+(B)	正規職員従事人数	1			
							延べ業務時間	1,000			
						人件費計(B)	4,000				
						トータルコスト(A)+(B)	57,147				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
被災した施設の被害調査及び修繕のための設計、工事。		ア	工事費 千円
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様である。年度内の完成を目標としている。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・綾里診療所、歯科診療所、越喜来診療所		名称	
・主に三陸町綾里、越喜来地区の住民		単位	
		カ	復旧対象診療施設数 箇所
		キ	綾里、越喜来地区の住民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
各診療所を震災前の状態に復旧することにより、地域医療体制の充実を図る。		名称	
		単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	復旧が完了した施設数 箇所
地域の住民が適切な医療を受けることができ、健康の保持増進が図られる。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	7,366	17,958			
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	26,290	4,925			
		一般財源	千円					
	事業費計(A)		千円	33,656	22,883	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1			
		延べ業務時間	時間	500	500			
		人件費計(B)	千円	2,000	2,000	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	35,656	24,883	0	0	0
⑤ 活動指標		ア	千円	14,491	16,052			
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	箇所	3	3			
		キ	人	5,335	5,244			
		ク						
⑦ 成果指標		サ	箇所	1	3			
		シ						
		ス						

事務事業ID	1477	事務事業名	診療施設災害復旧事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	東日本大震災により、綾里診療所、歯科診療所、越喜来診療所が被災した。その後は避難所等にて診療を行っていたが、診療体制を充実させるため復旧することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	震災直後は避難所等にて診察を行っていたが、診療を充実させるためには復旧が必要と判断したため、整備することとした。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	住民からは、元通りに診察ができるよう早期の復旧が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 復旧することで地域医療体制の充実につながる事業である。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ どの施設も当該地区唯一の医療機関として市直営で運営しており、欠かすことのできない施設であり、公共の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 地域住民等、誰もが利用できる医療機関であることから、健康の保持増進が図られる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 施設を復旧させることで完了する事業であるため向上の余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 地域住民が医療機関を受診できなくなるため健康へ悪影響を与えてしまう。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ どの施設も当該地区唯一の医療機関として市直営で運営しており、欠かすことのできない施設であるため他に手段が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 施設を復旧させる予算のみであるため削減することはできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 1人の職員が他の業務と並行して行っており、人件費は削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 費用は、国庫補助等で整備するものであり、受益者が負担することは無いので公平、公正である。

事務事業ID	1477	事務事業名	診療施設災害復旧事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地区住民にとってそれぞれ唯一の医療機関であり、復旧することで安定的かつ安全な医療の提供を行うことができた。23年度は越喜来診療所のみの工事が終了したが、24年度は綾里診療所、歯科診療所の工事も終了し、すべての事業が完了した。																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成24年度中にすべての事業が完了した。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	国保年金課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																							
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																							
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	被災施設は、震災前とほぼ同じ状態に復旧された。																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成24年度中にすべての事業が完了した。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
